

グローバルな視点を持ち、新たな価値を創造する人材の育成

西条高校は、平成30年度から5年間、文部科学省が指定するSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に選ばれました。新しい時代をたくましく生き、世界に躍進する人材の育成を目標に、生徒の多彩な進路実現を目指します。

マルチサイエンス I (2年生 課題研究) 研究経過報告会

7月8日に課題研究の経過報告会を行いました。講座ごとに、テーマを選んだ理由や研究手法の説明を中心に、これまでに取組を発表しました。発表後の質疑応答も活発に行われました。指導・助言の先生方や、参観した先生方からは、改善点などを具体的にご指摘いただき、今後の研究の方向性についてヒントを得ることができました。いくつかの班の報告を紹介します。

数学

「健康とデータサイエンス」



西条市の特産品を使った健康的な「食」を提案し、行動の変化をデータで読み取る。西条市民の健康寿命が伸びることで、医療費が削減され、西条市の活性化につながるのではないかと考えた。

地歴

「西条市の老舗が長続きするためには」



西条市の老舗がコロナ禍のような不況期にどのようなことをして生き残ってきたのかを調べたい。これからの西条市の産業を担う人が安心して店を営業出来るようにするため。



情報

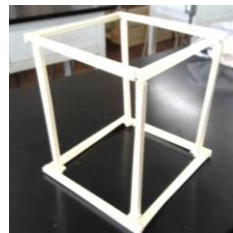
「マスクの下はどんな顔」



マスク生活の定着で、相手の表情が読み取りにくい問題に注目。顔を撮影するだけで、表情の予測、読み取りができるAIを作ろうと考えた。

物理

「地震に最も強い耐震構造」



現在の耐震構造の利点を確認し、その利点を生かしてより良い耐震構造を研究する。今後は来るとされている南海トラフ大地震の備えの一助となればと思った。

有法子 (1年生) クラス発表会

7月14日に防災・医療をテーマにクラス発表会を行いました。班ごとにリサーチクエストを考え、データを集め、ポスターにまとめて発表するという課題研究の流れを体験し、理解することができました。

